



第51回建築士会全国大会を終えて



第51回建築士会全国大会とくしま大会 実行委員長
(社)徳島県建築士会会長

林 正敏

連 連 連

ほんまにお世話になりました。

ありがとうございました。

踊るアホウに見るアホウ、同じアホなら

踊らにゃ ソン・損

エラヤッチャ・偉ヤッチャ ヨイヨイ ヨイヨイ

時ならめ阿波踊りの渦は大きく広がり、
天水（阿波踊りの踊り手）は舞い降り、乱
舞した。徳島の夜は全国から結集した建築
士会員3,500名余の熱気に燃え上がった。

「北の大地」で引き継いだ「大会旗」は
十万会員の英知・歴史、成功裏に終えた北
海道大会の成果と共に日増しに重く押し
掛かって来ていた。「連。ヤルデエ。雨は

降れえへん、晴れるって。連」と言い続け、
10月25日当日を迎えた。メイン会場での
開会式に始まり、セッション・まちづくり
交流プラザ、大会式典。サテライト会場で
のコラボレーションプラザ。コラボパー
ティー。エキスカッション。ご覧戴いた通り
の設えであった。建築士会員諸氏・諸兄の
気遣い・友情のお陰をもって大過なく無事
に開催主管できました。感謝いたします。

小泉改革以降、建築関連の経済的基盤は
かつてない規模で削減・減少され続けている。
しかし建築基準法・建築士法改正に見
られるように建築士の責務はより一層重い
ものとなっている。大転換期の真只中にあ
って「全国大会」を主管する栄誉をいただ
くことができた。奇しくも51回大会とい
う新たな50年の始まりの第1回目の記念
すべき大会である。50年の歴史を持つ建
築士会全国大会に何ができるのか？ 何が
求められているのか？ 徳島で開催する意
義は？ 等々……

全国大会は日頃の成果・実践活動の集大
成の場であり、研鑽の場である。そして建
築士、建築士会をアピールする場である。
徳島建築士会員は考え、行動した。「連」
は徳島を代表する「阿波踊り」から出た。
これをキーワードに展開して行った。「連」
=つれ=仲間・友人。個からの発信は連携、

連帯を模索しながらネットワークを構築し、
協働していった。

大会当日の状況・内容の詳細については
各部会よりの報告に譲るとしても「連に学
ぶ」として、「セッション」が「地域交流・
建築士交流 I・II」の3部門に分かれ、「ま
ちづくり交流プラザ」も展開された。一般
参加の市民・学生と共に論議がなされ、ネ
ットワーク構築の必要性と、建築士として
の責務の重要性が認識された。さらに、サ
テライト会場での「コラボ・プラザ」は「連
を楽しむ」ばかりでなく、「地域貢献活動」
によって蓄積されてきた手法が実践され、
街を舞台にさまざまな活動が展開された。

「とくしま大会」が「建築士会」の「新
たなる地平」への「はじめの一歩」に成り
得たと……。せめて、一石は投ずることが
できたものと……。

後になりましたが、連合会の藤本会長、
各副会長をはじめ、連合会事務局の皆様には
適切なお指導・ご鞭撻をいただき誠にあり
がとうございました。大変厳しい社会経
済情勢下、物心両面でのご支援をいただき
ました関係各位に感謝とお礼いたします。
また、全国各地より、3,500名にもおよぶ
ご参加をいただき、改めてお礼申し上げます。
「山形大会」へ「連」いたしますように。
大成功を祈念いたします。

第51回建築士会全国大会
「とくしま大会」概念図

